

記者発表資料（資料配布）				
発表日	担当課名	電話	発表者名（担当者）	その他配布先
9月16日（水）	病院局経営課	078-362-3301	経営課長 市川 裕造 （経営企画班長 近藤 昭広）	阪神南、東播磨、中播磨、西播磨、丹波、淡路各県民局 （県民センター）

令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について

1 経営状況（13病院）

令和7年度の経常収益は、入院収益、外来収益がともに増加したことに加え、医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業補助金などの補助金や一般会計繰入金の増加もあり、令和6年度に比べ112億円増加した。

一方、経常費用は、人事委員会勧告に基づく給与改定等による給与費の増加、物価高騰に伴う材料費や経費の増加により、102億円の増加となった。

これらの結果、経常損益は、令和6年度から10億円改善したものの、マイナス119億円と引き続き大幅な赤字となった。

また、純損失は125億円となった。

【決算状況】

（単位：百万円）

区 分		令和6年度	令和7年度	前年度比較	
				増減	割合（%）
経常収益	入院収益	97,659	101,512	3,853	103.9
	外来収益	41,352	43,336	1,984	104.8
	その他医業収益	3,007	3,369	362	112.0
	医業収益 計	142,018	148,217	6,199	104.4
	一般会計繰入金	16,637	19,578	2,941	117.7
	補助金	999	3,023	2,024	302.6
	その他収益	9,486	9,552	66	100.7
合 計 ①		169,140	180,370	11,230	106.6
経常費用	給 与 費	87,530	92,308	4,778	105.5
	材 料 費	49,710	53,254	3,544	107.1
	経 費	29,325	30,786	1,461	105.0
	その他医業費用	13,079	13,327	248	101.9
	医業費用 計	179,644	189,674	10,030	105.6
	その他費用	2,345	2,548	203	108.7
合 計 ②		181,988	192,223	10,235	105.6
経常損益 ③（①－②）		△ 12,849	△ 11,852	997	－
特別利益 ④		98	118	20	120.4
特別損失 ⑤		532	769	237	144.5
当期純損益⑥（③＋④－⑤）		△ 13,283	△ 12,504	779	－

※ 計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。以下の表についても同様。

【（参考）病院別】

（単位：百万円）

区 分		尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども
R6 決算	経常損益	△2,196	△1,784	△1,495	△1,992	△1,271	△796	△351	△1,609
	純 損 益	△2,188	△1,830	△1,494	△2,389	△1,280	△800	△350	△1,610
R7 決算	経常損益	△2,829	△1,675	△1,549	104	△1,025	△922	△84	△2,330
	純 損 益	△2,870	△1,612	△1,549	△566	△1,018	△934	△83	△2,333

区 分		がん	粒子線		10病院計	指定管理			計
			たつの	神戸陽子		災害	リハ中	リハ西	
R6 決算	経常損益	△285	△671	△400	△12,849	0 (△42)	0 (△19)	0 (△24)	△12,849 (△85)
	純 損 益	△286	△656	△400	△13,283	0 (△42)	0 (△19)	0 (△24)	△13,283 (△85)
R7 決算	経常損益	△366	△727	△448	△11,852	0 (196)	0 (△12)	0 (△84)	△11,852 (100)
	純 損 益	△365	△727	△447	△12,504	0 (196)	0 (△12)	0 (△84)	△12,504 (100)

※ （ ） 書きは指定管理病院の決算を記載

【業務量】

区 分		単位	令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比較
入院	病床数(年度末)	床	4,394	4,309	△ 85
	病床利用率	%	81.2	83.8	2.6
	延患者数	人	1,301,939	1,318,689	16,750
	1日当たり患者数	人/日	3,567	3,612	45
	平均在院日数	日	12.5	12.4	△ 0.1
	入院単価	円	80,040	82,086	2,046
外来	延患者数	人	1,778,308	1,784,172	5,864
	1日当たり患者数	人/日	7,318	7,372	54
	外来単価	円	24,029	24,869	840

2 資本的収支の決算状況

(単位：百万円)

区 分		令和 6 年度	令和 7 年度	前年増減	主な増減理由
収入	企業債	15,350	41,360	26,010	西宮総合医療センター整備事業、がんセンター建替整備事業に伴う増
	負担金	7,641	7,495	△ 146	一般会計負担金の減
	その他収入	1,034	1,317	283	西宮総合医療センター整備事業にかかる諸収入の増
	合 計	24,024	50,172	26,148	
支出	建設改良費	16,374	42,665	26,291	西宮総合医療センター整備事業+26,288(7,306→33,594) がんセンター建替整備事業+3,818(448→4,266) 医療機器整備事業△3,650(8,004→4,354)
	企業債償還金	12,481	12,199	△ 282	丹波医療センターの開設時整備医療機器償還終了に伴う減
	その他支出	114	97	△ 17	医師修学資金貸付金等の減
	合 計	28,969	54,961	25,992	
差 引		△ 4,945	△ 4,789	156	

3 累積欠損金、内部留保資金等

令和 7 年度末の累積欠損金は、当期純損益が 125 億円の赤字となったことから 754 億円となり、456 億円の債務超過となった。

なお、内部留保資金残高は、経営改善推進事業債 130 億円の発行によりマイナス 41 億円となった。

(単位：百万円)

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度
当期純損益	△ 13,283	△ 12,500
累積欠損金	△ 62,854	△ 75,354
資本合計	△ 33,437	△ 45,643
内部留保資金残高	△ 7,914	△ 4,112

※ 金額は損益計算書ベース（税抜き）で作成

4 令和 8 年度を取組について

令和 8 年度も給与改定による給与費の増や物価高騰の継続等、厳しい経営環境が見込まれるが、病棟の一時休止、新病院の段階的オープン、職員配置の適正化など、より強化した収支改善策に病院局と各病院が一丸となって取り組み、持続可能な経営の確保に努める。